

台湾のプロテスタント・キリスト教病院における キリスト教文化と医療従事者の宗教体験の聞き取り調査

張 揚 文化人類学分野・専門 博士前期課程2年

調査背景 台湾はかつて、「瘴癘の地」と呼ばれ、地理・気候的には亜熱帯に属し、高温多湿のため病気が発生しやすい地域だと思われていた。杜聡明（1959）によると、台湾の医療発展は、五つの時期、つまり「原始医学時代」「瘴気医学時代」「教会医学時代」「日治医学時代」「中華民国医学時代」に分けられる。その中で、「教会医学」、即ち台湾のキリスト教医療は、19世紀半ばに、イギリスとカナダの長老教会の宣教師によって、それぞれ台湾南部と、北部、中部を中心に行われていた「医療伝道」(Medical Missionary)から始まった。戦後、キリスト教プロテスタントの各主流教派が台湾に伝えられ、キリスト教病院の創設が盛んになった。本調査では、アメリカルーテル会の医療宣教師 Dr. Ditmanson によって設立された嘉義キリスト教病院 (CYCH) を中心に、病院の歴史文化及び医療・宗教活動、医療従事者の宗教体験などに関して聞き取り調査を行った。

調査目的 本調査の結果は調査者の修士論文の一部である内部者視点研究の基盤となる。修士論文では、台湾嘉義地域のキリスト教医療を構成する CYCH を事例に、人類学的アプローチから病院のエスノグラフィを作成する。その元となる本調査では、CYCH に存在しているキリスト教活動に参加観察し、医療従事者に対する聞き取り調査を通して資料の収集を行う。現地調査により、CYCH のキリスト教医療文化の特徴、及び医療従事者、患者にどのような役割を果たしたのかを明らかにする。

方法 本調査で、調査者は2018年5月7日～15日、2018年11月11日～17日の間に2回の現地調査を実施した。一回目は、CYCH でキリスト教信者のセルグループ活動及びスピーチ大会などに参加観察した。また、合計7名の医療関係者、研究者及びチャプレンのライフストーリーに関わる聞き取り調査を行った。二回目は、主に1987～2018年の約30年間の病院成長期の発展に寄与した2名の元院長W氏とC氏、シニアスタッフと理学療法士各1名に対してインタビュー調査を行った。それに加え、病院のキリスト教活動を5回にわたり参加観察した。

考察と結果 CYCH のキリスト教医療文化の中には、「全人的ケア」の特徴が見られ、医療従事者に「癒し」(healing) の機能を果たしていた。CYCH の「癒し」は、病院の「全人的ケア」(holistic care) と結びついて行われている。CYCH は病院、嘉義地域、さらにタイとフィリピンの海外地域という3つのコミュニティで、医療関係者、患者、及び地域の住民のニーズに合わせ、「癒し」に繋がる医療的、宗教的ケアを提供している。CYCH はコミュニティの医療化と福音化の担い手となっている。本調査では、主に病院のチャプレン部活動を参加観察してきた。医療従事者に対して、チャプレン部はセルグループの「癒し」を通して、彼らの全人的なニーズを満たし、仕事や生活においてより健康的な状態を作り出している。患者に対して、病室の巡回ケア、緩和・ホスピスケアを提供し、患者の精神的苦痛に「癒し」を与えている。同時に、「癒し」によって、両者を信仰の道に導くようにする。内部者の視点から見れば、CYCH の「癒し」は、キリスト教の、精神的に救われる「癒し」に繋がり、コミュニティの「健康的」福音化という理念に内包されている。

参考文献

杜聡明 (1959) 『中西医学史略』



図1 嘉義県、嘉義市
(出所：Google Map)

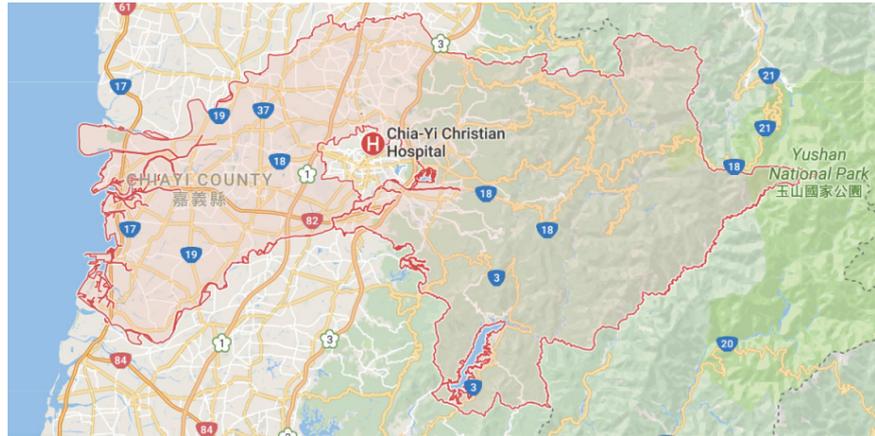


図2 CYCHの位置
(出所：Google Map)

表1 CYCHで働くスタッフや医療関係者の信仰状況

	プロテスタント	カトリック	道教	仏教	一貫道	ほか	データなし
比率	15.4%	1.1%	29.1%	9.6%	0.9%	26.6%	17.2%

(チャプレン部『2018年全院共識宮問巻調査報告』の内容に基づき筆者作成)

表2 CYCHの医療従事者、スタッフ及びその家族の洗礼と「信仰の告白」

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
洗礼	9人	6人	10人	2人	13人	10人
信仰の告白	22人	39人	57人	19人	170人	61人
活動参加者	2031人	2310人	6701人	7303人	6389人	8598人

(チャプレン部の報告書内容に基づき筆者作成)

表3 CYCHの入院患者の洗礼と「信仰の告白」

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
洗礼	8人	8人	9人	8人	6人	13人
信仰の告白	55人	109人	84人	81人	141人	111人

(チャプレン部の報告書内容に基づき筆者作成)

聞き取り調査のインフォーマント

- 元院長 WRH 氏： 60代後半、男性、1987～2000年
- 元院長 CCR 氏： 60代後半、男性、2000～2018年
- LLS 氏： 70代、男性、シニアスタッフ、CYCHに50年
- CGF 氏： 50代、女性、シニアスタッフ、CYCHに30年
- XYZ 氏： 30代、女性、一般外科医師、CYCHに4年
- CKH 氏： 30代、男性、整形外科医師、CYCHに4年
- LMZ 氏： 40代、女性、臨床検査技術部主任、CYCHに25年
- YLC 氏： 20代、女性、超音波診断師、CYCHに3年
- HCJ 氏： 20代、女性、理学療法士、CYCHに3年